

解答

一

① 衛星 ② 金額 ③ 逆立〔ち〕 ④ 経営 ⑤ 点検 ⑥ えんがん

⑦ きちよう ⑧ どきよう ⑨ てっこう ⑩ どしゃ

二

① 5 ② 6 ③ 7 ④ 1 ⑤ 2

三

問一	A	4	B	1	C	2	D	3
問二	非	2	断					
問三	i	3	3	2	4			
問四	ii		iii	iv	2			
問五	4							
問六	4							
問七	I	3	II	1	III	4	IV	2
問八	I	図書室	2	もう二度とできない				

四

問一	ア	2	イ	1	ウ	5	エ	3	オ	4
問二	ア	4	イ	いのち						
問三	1									
問四	みずからの意志で決定できる									
問五	自由									
問六	1									
問七	B									
問八	3									
問九	最初…自分一	／	最後…ている							

解説

三

問六 — ①の前後にある私たちの様子に着目します。好き勝手に走った後に、頭も身体も爽快地疲れている姿から選択肢4が選べます。

問八 — 少し前の『『そう言えば、』で始まる会話から、図書室が飲食禁止であることがわかるので、適当な三字は「図書室」になります。

2 — ②を含む会話に、「サイダー飲んだり、朝早くから本の整理をしたり、走ったり、読書したり。もう二度とできないような気がするからかな」とあり、何気ないことが、「もう二度とできない」かもしれないので、大切に感じられることがわかります。

四

問六 — ③の前後に着目します。「人は自分のいのちを自分で創りだしたわけではないし、自分のいのちを自分で閉じることできない。」は選択肢2、「だれしも他人の庇護のもとで育つ。他人にあれやこれやの世話を受けながら老いる。」は選択肢3と同じ内容を言い表していることがわかります。また、「その人に死なれた人びとにとってもそれは重大な出来事なのだ。」という記述から選択肢4が適当であることがわかるので、適当でないものは選択肢1になります。

問八 — ④を含む段落にある「他人との交換や交感という関係からはなれて、人の暮らしというものは成り立たない。」「ありふれた言い方になるが、〈生〉も〈死〉もその根っこからして社会的な出来事なのである。」と

いう記述から、選択肢3が適当であることがわかります。